



東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科・東北文化研究センター主催
高校生のための地域学ゼミナール

8月8日[金]、9日[土]
in 大蔵村肘折温泉

火の民俗と文化

私たちの身近にある地域文化を掘り下げてみると、そこには、今まで気づかなかったようなドラマティックに繰り広げられた歴史や、人が自然とともに生きていくために長い間培われてきた技術や心の世界が見えてきます。その発見はおどろきの連続です。そこで高校生のみなさん向けに、地域文化のおもしろさを知っていただくため「高校生のための地域学ゼミナール」を開催します。今回は、出羽三山信仰や鉱山と結びつきの深い肘折温泉を舞台に、「火の民俗と文化」をテーマに、東北の地域文化について考えます。高校生のみなさん、一緒に地域を歩いてみませんか。

対象

高校生（学年不問）
保護者の方 高校の先生

参加料

高校生：3,000円（食事・宿泊・保険含）
大人：8,000円（食事・宿泊・保険含）
※申込期限：平成20年 8月4日（月）

講師

赤坂憲雄
（本学大学院長・東北文化研究センター所長）
内藤正敏
（本学大学院教授・東北文化研究センター研究員）
森 繁哉
（本学東北文化研究センター教授・こども芸術大学教頭）
六車由実
（本学芸術学部歴史遺産学科准教授・東北文化研究センター研究員）
岸本誠司
（本学東北文化研究センター専任講師）

日程

1 日目【8月8日（金）】

13:00 新庄駅集合
→ マイクロバスで肘折温泉へ移動
14:00 地域学ゼミナール「火の民俗と文化」
会場：肘折ホテル
17:30 夕食
18:30 温泉街の散策・「ひじおりの灯」* の見学
20:00 “火の文化”に関する映像の上映会・夜語り
宿泊：肘折ホテル

2 日目【8月9日（土）】

9:30 肘折温泉民俗ツアー

*「ひじおりの灯」…7月13日の開湯祭から8月20日の精霊流しの期間に、本学生制作の灯籠が夜の肘折温泉街を灯します。



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

【問合せ・申込先】東北芸術工科大学東北文化研究センター 〒990-9530 山形県山形市上桜田三丁目4番5号
TEL：023-627-2168 FAX：023-627-2155 E-mail：tobunken@aga.tuad.ac.jp

【後援】山形県教育委員会 大蔵村 大蔵村教育委員会

「地域学ゼミナール」は、私たちがご案内します。〈講師紹介〉



赤坂 憲雄 (あかさか・のりお) 灯籠に浮かび上がる温泉街を歩きながら語り合う一夜は、きっと忘れられない贅沢な時間となることでしょう。

1953年生まれ。東京都出身。東北芸術工科大学大学院長、東北文化研究センター所長。専攻は日本思想史・東北文化論。東北一円を聞き書きのフィールドとして、埋もれた歴史や文化を掘り起こしながら、「いくつもの日本」を抱いた、あらたな列島の民族史の地平を開くために、東北学の構築をめざしている。1996年山崎賞、1999年真壁仁・野の文化賞、2000年山形新聞3P賞、2007年ドゥマゴ文学賞、2008年河北文化賞、同年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。主な著書に、『異人論序説』、『東北学へ』、『東西／南北考』、『岡本太郎の見た日本』など。



内藤 正敏 (ないとう・まさとし) 対立しあう火と水。この二つの関係が修験道の謎を解くキーワードなんです。

1938年生まれ。東京都出身。東北芸術工科大学大学院教授、東北文化研究センター研究員。写真家、民俗学者。1963年二科賞、カメラ芸術新人賞、APA奨励賞、1966年日本写真批評家協会新人賞などを受賞し写真家を志す。以後、1983年写真集『出羽三山と修験』で第2回土門拳賞、1986年写真集『東京』で日本写真協会年度賞、1989年「54 Master Photographers of 1960-1979」(1960-70年代の世界を代表する54人の写真家)を受賞。著書に、『出羽三山』『ミイラ信仰の研究』『修験道の精神宇宙』『日本「異界」発見』など。



森 繁哉 (もり・しげや) 肘折温泉のある大蔵村は私の故郷です。癒しの湯にゆったりつかって、故郷を、地域を学ぶことの面白さについて是非語り合しましょう。

1947年生まれ。山形県大蔵村出身。東北芸術工科大学東北文化研究センター教授、こども芸術大学教頭。現代舞踊家。クラシックバレエ、スペインダンス等を習得後、現代舞踊の道へ。「水の踊り」「庭、パリエーションズ」など多くの舞台作品の他、出羽三山山中にて「千の行」を展開。こうした活動の様子がフランス、アメリカのCNNに取り上げられ、日本を代表する舞踏家の一人として知られる。多彩な活動によりインタークロス賞、山形県社会文化賞等を受賞。



六車 由実 (むぐるま・ゆみ) オサイトウの火、精霊舟の火。あたたかだけどころすべてを焼き尽くす炎は、どうしてこんなに人々を魅了するんだろう。

1970年生まれ。静岡県出身。東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科准教授、東北文化研究センター研究員。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程を修了。博士(文学)。「いけにえ」や「焼畑」というテーマを中心に、自然のなかで生きる人の営みについて考える。著書に『神、人を喰う』(第25回サントリー学芸賞・思想歴史部門受賞)、共著に、『いくつもの日本IV さまざまな生業』など。



岸本 誠司 (きしもと・せいじ) 焼畑の火、野焼きの火、現在も受け継がれる生きるための火の技術とは。

1971年生まれ。兵庫県出身。東北芸術工科大学東北文化研究センター 専任講師。近畿大学大学院修士課程修了、近畿大学民俗学研究所研究員を経て、2005年より現職。専攻は民俗学、とくに生業論、栽培作物(マメ類)の民俗について研究。業績に『中世村落の景観と環境』(共著)ほか。

申込用FAXシート (FAX番号:023-627-2155)

地域学ゼミナールに参加ご希望の方は、下記に必要事項をお書き添えのうえ、8月4日(月) まで、FAXまたは郵送にてお申し込みください。尚、未成年の方が参加される場合は、保護者の方の同意が必要です。下記の同意書にご署名ください。

| フリガナ 参加者氏名 | 性別 | 所属 | 住所・電話番号 | 年齢/学年 |
|---------------|-----|----|----------------|--------|
| | 男・女 | | 〒 TEL () - | 才 / 年生 |
| | 男・女 | | 〒 TEL () - | 才 / 年生 |
| | 男・女 | | 〒 TEL () - | 才 / 年生 |

同意書

「地域学ゼミナール」に参加することに同意します。

保護者署名

本人との続柄